

令和6年度亀岡市地域密着型サービス運営委員会及び亀岡市地域包括支援
センター運営協議会 会議録（概要版）
（第1回会議）

1. 日時

令和6年10月7日（月） 13:30～15:45

2. 方法

対面会議

3. 会議次第

1 開会

2 連絡・報告事項

- (1) 亀岡市地域密着型サービス運営委員会及び
亀岡市地域包括支援センター運営協議会の役割について
- (2) 正副会長の選出
- (3) 亀岡市地域密着型サービス運営委員会
亀岡市地域密着型サービス事業者等の指定・指導について
- (4) 亀岡市地域包括支援センター運営協議会
 - ア 亀岡市地域包括支援センター令和5年度実績報告及び
令和6年度活動実績について
 - イ 亀岡市地域包括支援センター令和5年度収支決算及び
令和6年度収支予算について
 - ウ 亀岡市地域包括支援センターの人員配置について
- (5) その他

3 閉会

4. 配布資料

- ・資料1 亀岡市地域密着型サービス運営委員会及び
亀岡市地域包括支援センター運営協議会について
- ・資料2 亀岡市地域密着型サービス事業者等の指定・指導について
- ・資料3 亀岡市地域包括支援センター
令和5年度実績報告及び令和6年度活動計画について
- ・資料4 令和6年度亀岡市地域包括支援センター運営方針の概要
- ・資料5 亀岡市地域包括支援センター
令和5年度収支決算及び令和6年度収支予算について
- ・資料6 亀岡市地域包括支援センターの人員配置について

- ・基礎資料
- ・亀岡市地域密着型サービス運営委員会設置要綱
- ・亀岡市地域包括支援センター運営協議会設置要綱
- ・亀岡市地域密着型サービス運営委員会及び亀岡市地域包括支援センター運営協議会委員名簿
- ・地域包括支援センターリーフレット・「みんなのあんしん 介護保険」パンフレット

5. 出席者（敬称略）

< 委員 >

構成区分	団体名他	氏名（敬称略）
①学識経験者	佛教大学 教授	おかざき ゆうじ 岡崎 祐司
②保健、医療及び福祉関係者	亀岡市医師会	うえき たかのり 植木 孝宜
②保健、医療及び福祉関係者	亀岡市薬剤師会 代表	こくふ ちかよ 国府 千香代
②保健、医療及び福祉関係者	亀岡市歯科医師会 副会長	にしだ ゆきひろ 西田 幸弘
②保健、医療及び福祉関係者	京都府南丹保健所 企画調整課長	しやうだ あきひこ 庄田 昭彦
②保健、医療及び福祉関係者	亀岡市社会福祉協議会 事務局長	いのうえ きちこ 井上 幸子
③介護保険サービス事業者及び居宅 介護支援事業者	亀岡市ケアマネジャー連絡会 会長	くまがい まき 熊谷 真喜
③介護保険サービス事業者及び居宅 介護支援事業者	亀岡市ヘルパー部会 会長	はら さだゆき 原 貞之
④介護保険の被保険者及び 介護保険サービスの利用者	第1号被保険者	たけがみ あつこ 竹上 淳子
④介護保険の被保険者及び 介護保険サービスの利用者	第1号被保険者	かわかみ まちこ 川上 真知子
⑤その他本会で必要と認められる者	リーガルサポート京都支部	やぎ なおき 八木 尚希
⑤その他本会で必要と認められる者	亀岡市老人クラブ連合会 副会長	いなり りょういち 稲荷 良一
⑤その他本会で必要と認められる者	亀岡市民生委員児童委員協議会 副会長	もりなが まさゆき 森永 正幸
⑤その他本会で必要と認められる者	特定非営利活動法人 NPO 亀岡人権交流センター 事務局長	ともなが まや 友永 まや

※欠席委員 亀岡市自治会連合会 幹事 竹岡 敏

<事務局>

- ・ 亀岡市 健康福祉部 亀井部長
健康福祉部高齢福祉課 鈴木課長・藤谷副課長・松永係長・木村主事

<包括支援センター>

- ・ 亀岡地域包括支援センター 前川管理者
- ・ 南部地域包括支援センター 西村管理者
- ・ 中部地域包括支援センター 中村センター長
- ・ 西部地域包括支援センター 内藤管理者
- ・ 川東地域包括支援センター 木内管理者
- ・ 篠地域包括支援センター 秦センター長
- ・ つつじヶ丘地域包括支援センター 圓山保健師

6. 主な会議内容

【開会】<事務局>

【開会挨拶】<健康福祉部長>

【新委員自己紹介】<事務局>

連絡・報告事項

(1) 亀岡市地域密着型サービス運営委員会及び

亀岡市地域包括支援センター運営協議会の役割について

<事務局 資料説明>…資料1

(2) 正副会長選出 (敬称略)

会長：岡崎 祐司

副会長：森永 正幸

(3) 亀岡市地域密着型サービス運営委員会

亀岡市地域密着型サービス事業者等の指定・指導について

<事務局説明>…資料2

(4) 地域包括支援センター運営協議会

ア 地域包括支援センター令和5実績報告及び令和6年度活動計画について

<事務局説明>…資料3・資料4

<各地域包括支援センターからの活動報告>…基礎資料

【質疑応答】

<会長>

資料の中にある認定率はどういう計算式ですか。

<地域包括支援センター>

65歳以上の人口に対しての比率です。

「(要支援＋要介護) ÷ 65歳以上の人口＝認定率」となります。

<会長>

現在亀岡地域では、ケアプラン数が多いことから、介護予防支援業務における新規相談について待機がでていることは分かりました。

介護認定調査も待っていただいている状況ですか。

<地域包括支援センター>

認定調査については、改善されている印象です。緊急性の高いものは優先していただいています。しかし、要介護認定が決定したとしても、居宅介護支援事業所のケアマネジャーも不足していることから、介護難民が懸念されます。

<会長>

ケアマネジャーの総数は把握していますか。

<事務局>

ケアマネジャーの人数は把握しています。実際、亀岡市全域として、ケアマネジャーが不足しているのが現状です。

<会長>

事業所等に所属していないケアマネジャーの数は把握できていますか

<委員>

把握できていません。ケアマネジャーは、定期的に更新研修の受講が必要となります。ケアマネジャーの資格は持っていても、研修を受けてない方もあり、資格を有する全員がすぐにケアマネジャー業務ができるわけではありません。

どこの居宅介護支援事業所も人手不足が現状なので、地域包括支援センターからの委託を断ることも増えており、ケアマネジャー連絡会でも課題になっています。また、居宅介護支援事業所間や地域包括支援センターとの横の繋がりが少ないことが亀岡市全体の課題だと思います。

<会長>

亀岡地域包括支援センターの外部委託率は10%くらいですか。

<地域包括支援センター>

10%を切っています。居宅介護支援事業所のケアマネジャーに委託を受けてもらうにも限りがあるため、待機してもらうケースが増えています。

<会長>

ケアプランを待っている間、当事者はどうされているのですか。

<地域包括支援センター>

緊急的な事案については、優先順位を上げて調整していますが、家族で助け合っているような場合は、最初に待機が出ている状況について説明を行っています。1～2カ月程の待機期間ですので、介護保険サービスの体験などを利用してもらいながら、対応しています。

<委員>

介護難民や介護者支援などの深刻な問題について、地域包括支援センターの皆様に支えていただいているところに感謝しています。本協議会でそういった問題に対し、国や市町村に施策を提言していきたいと思っています。

今回地域包括支援センターから報告を受け、2点お話ししたいと思います。

1点目は、運営方針の中の重点的に取り組む事項としまして、「多職種、協同による地域包括支援ネットワークの構築」を項目として挙げていただいております。そこに様々な、仕組みの構築や関係づくりについてと挙げていただいておりますが、例えば、ヤングケアラーの重層的に関わる支援という時に、亀岡人権交流センターでは子供たちの居場所やヤングケアラーの支援拠点を京都府から委託をされています。今後、地域ケア推進会議等での積極的な情報交換・連携をとっていければと考えています。

2点目ですが、それぞれの地域包括支援センターの総合相談中で、男性の介護者支援が課題だと報告がありました。男性から女性へのDVの事例が介護の現場において目立つのか教えていただければと思います。

<地域包括支援センター>

虐待の疑いの相談が、昨年度は17件ほどありましたが、その内の12件が男性介護者からの虐待と報告をしております。介護しなくてはならなくなった時に、どうすればよいのだろう、誰にも相談できない、イライラして手が出る、という相談がとても多く、これは地域課題ではないかという気づきが発端で、そういう人たちの仲間づくりをしていき、相談してもよい、SOSを発してもよい、そういう承認される場所として、男性介護者の集いをしたいと考えております。

<事務局>

他の新興住宅地があるような地域についても、同様の課題を抱えると聞いています。

<委員>

地域包括支援センターは各圏域に事務所を構えていると思いますが、中部地域包括支援センターが圏域に事務所を設置されていないと思うのですが、今後設置場所についてはどのようにお考えですか。

<事務局>

中部地域包括支援センターは、現在亀岡市社会福祉協議会に受託いただいておりますが、開所当初はなかなか圏域に設置場所が見つからなかったことから、現在の場所で運営を開始しました。

現状、各自治会等から、利便性が高いということで、特に現在の場所での運営に問題はないと伺っているところです。今後につきましては、地域包括支援センター全体の見直しを検討していく中で、設置場所についても併せて考えていきたいと思っているところです。

<地域包括支援センター>

圏域内に事務所を借りて運営している地域包括支援センターもありますが、そこを含めて今後議論していただければと思います。

<会長>

基本的な地域包括支援センターの在り方を踏まえて、運営協議会としては、次の会議に議論を行っていければと考えています。

イ 亀岡市地域包括支援センター令和5年度実績報告及び令和6年度活動計画について
<事務局説明>…資料5

ウ 亀岡市地域包括支援センターの人員配置について
<事務局説明>…資料6

<会長>

ありがとうございました。

年度末にもう一度会議があると思いますので、そこで是非議論をお願いしたいと思っています。それでは、私の方からは以上です。事務局にお返しします。

<事務局>

岡崎会長ありがとうございました。

それでは、本日の議事を全て終了することとさせていただきますと思います。

委員の皆様にはご協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。本日様々ないただきましたご意見につきましては、今後の包括支援センターの運営等に反映してまいりたいと存じます。

また、今後のスケジュールにつきましては、次回の会議につきましては、現在のところ2月頃の開催を予定しております。ご案内を申し上げたいと思いますので、ご出席をよろしくお願いいたします。

本日は長時間に渡りご参加いただきまして有難うございました。

(15:45閉会)